



コロナ禍での熱中症予防対策

感染対策の実施により、例年以上に熱中症への注意が必要です

N95 マスク等防護具の着用により、新型コロナ感染症対策との両立が重要です。

防護具着用下における熱中症対策を再度見直しましょう。

☑ 新型コロナウイルスに対する感染対策として、マスクやガウン等の防護具を着用する。

☆ 作業環境を整えましょう

☞ 作業時間の設定や交代等により無理のない作業時間とする

※医療需要がひっ迫し人員の確保も難しい状況ですが、スタッフの健康を守るため、是非ご検討ください。

☞ 作業に応じて部屋の設定温度を調整する

☞ 作業終了後に水分や塩分がすぐに摂取できる環境を整備する



☆ 体調管理をしましょう

☞ 朝食を摂ってから出勤する

☞ 定期的に休憩を取り、自覚症状の有無にかかわらず水分(塩分)を補給する

☞ 休憩場所に体温計や体重計を備えることで自身の身体状況が確認できる

☞ 患者さんの体温、血圧、水分出納量、食事量等いつも以上の注意をお願いします！！

☑ 新型コロナウイルスに対する感染対策として、窓を開放している

☞ 室温の上昇に注意して設定温度をこまめに調整する

今年の夏も連日の猛暑となることが予想されますが、空調設備の定期点検は実施されていますか？

裏面には空調設備の不具合により生じた事例を紹介しています。

施設管理の方必見です！！

空調設備の故障に注意しましょう!!

☑ 感染対策を取りつつ、持続的な作業を安心して行える環境が必要

- 👉 空調設備の定期的な点検を実施し、故障を未然に防ぎましょう
- 👉 空調機械の耐用年数等を確認し、買い替えについても検討しましょう
- 👉 突然の故障を想定した対応策を講じていただくことも重要です

《具体的な対応策》・置き型冷風機や扇風機を備蓄(これらの定期点検もお願いします)

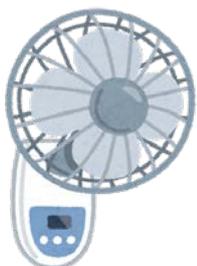
- ・レンタル業者の確認や系列病院間での借用
- ・大量の保冷剤の確保等



事例

数年前、他県の病院においてエアコンが故障し、熱中症疑いにより複数の患者が死亡する事故が起きましたが、エアコンの故障と死亡との間に因果関係があるとされ、院長が業務上過失致死の疑いで書類送検されています。この病院では、エアコンの定期点検をしておらず、業者からは修理に1か月かかると言われていたことが報道されています。

横浜市内でも一昨年、2件の空調設備の故障が発生しており、そのうち中規模病院で起きた事例では、一部の空調を残してほとんどの院内冷房が停止しました。壁掛け式扇風機等の導入や気化式冷風機のレンタルに加え、患者確認を通常よりも頻回に実施する等の対応により、体調不良者を出すことはありませんでしたが、復旧までに約10日間を要しました。



適切な温度、湿度が確保できない環境を想定した事前の

患者対策についても検討をお願いします。

環境省 熱中症予防サイト

(<https://www.wbgt.env.go.jp/>)

